2021年度事業報告書

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

特定非営利活動法人フードバンク京都

1. 事業の方針

特定非営利活動法人フードバンク京都は2022年３月31日をもって第4期の事業年度を終了することが出来ました。無事に年度末を迎えることができましたのも皆さまの暖かいご支援によるものと深く感謝申し上げます。

今年度は、コロナ禍2年目となり、行政機関と緊急支援をやり取りしていく中で、フードバンク京都の存在が浸透しつつあると感じた一年でした。

　その中で、「もったいないからありがとうへ」を合言葉に、今年度取り組んできた重点課題の成果を報告いたします。

❖【食品の回収量を増やしていきます】について

営業メンバーの尽力の結果、回収量も増えました。今年度、フードドライブを開始したのは、くわの実つむぎ会、コープらくさい、コープ下鴨、アル・プラザ亀岡、ファミリーマートで４店舗と、善意のこころが広がっています。また、広報の成果もあり、学校や企業で、新たに自主的にフードドライブを開催されることが増えてきました。

無印良品にも営業を行った結果、仕分け作業や配送に実際に参加された社員の方が、活動への協力の必要性を痛感され、現在フードドライブの開催に向けて動かれています。

支援食品の総重量は、約25,000キロで1.２倍に増えました。特に行政機関などからの要請に基づく個人への支援が、約8,300キロと昨年度の2.3倍に増えました。

そして、今年度の特徴としては、コロナの影響による休校が相次いだことです。連日複数校あったため、施設だけでは受け入れ難しく、困窮外国人を支援している京都大学文学研究科安里研究室移民研究会と連携するなど工夫を重ねました。

また、今年度は、新たに京都府の府民に寄り添った地域活動緊急支援事業の予算を申請し、普段の活動では渡せない生鮮食品（お肉など）をお届けすることができて、「普段はなかなか購入できない」と大変喜ばれました。農林水産省のフードバンク支援緊急対策事業、厚生労働省のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業も申請しました。

寄附食品の増加により、既存の事務所では狭くなってきたため、新しい事務所探しに奔走し、来年度に移転予定です。

また、寄附いただいた食品を保管する倉庫を持っており、配送も担える企業、株式会社　塚腰運送とパートナー契約も結びました。

❖【広報活動を積極的に行います】について

学生さんへの講演、インタビューも昨年度１２件から、１９件に増加し、そこからフード

ドライブに繋がったケースもありました。

朝日新聞からは、子どもの貧困というテーマで取材を受けました。その結果、より広い対

象に広報することが出来ました。それを見て活動に参加したいと連絡があり、実際に活動を開始したメンバーもいます。

　広報誌「もったいないから、ありがとうへ」を計画通り、年2回発行しました。

支援者や提供先、メンバーの想いなど各方面から取材して、編集し、カラー印刷をして、ホームページにも掲載し、反響がありました。SNSへの投稿も増やし、フォロー数も増えました。それを見て活動に参加したメンバーが多くいました。食品を寄附してくださった企業も掲載することにより、今後の寄附増加への一助となっています。

❖【配送スタッフの充実をはかります】について

　SNSや折込チラシでの配送募集の結果、配送を担えるメンバーが4名増えました。

ボランティアも含めたメンバーも63名と年度当初から約2倍も増えました。営業、大工仕事が得意なメンバーなど、活動の幅が拡がってきています。

活動する初回は、普段から配送を担っているメンバーの車に側乗していただくなど、きめ

細やかな配慮をしています。

❖【自主農園での設備の充実をはかります】について

小屋やトイレなどの造設を考えていましたが、建築基準法に適応するためには、かなり予算を超えるため、断念しました。その代わり、小屋の修繕を来年度考えています。

今年度より、収穫した野菜の重量をとるようになり、今年度は、約600キロでした。支援食品に野菜を入れることで、インスタントに偏りがちな支援がより健康的な内容となり、野菜の彩りは気持ちの癒やしの一助となってくれていると思います。

畑作業に参加するメンバーも増え、畑から他の作業に参加することに繋がる‘呼び水‘となっており、当フードバンク京都の特徴となっています。

具体的な成果（数量等）は、以下、「Ⅱ　事業実施に関する事項」で報告いたします。

Ⅱ　事業実施に関する事項（特定非営利活動に係る事業）

（１）社会福祉施設及び要支援者への支援を行っている団体等への食糧提供事業

　　　母子支援施設、児童養護施設、自立支援ホーム、子ども食堂の他、炊き出しなどで困窮者への支援活動を行っている団体への食糧の提供を行った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支援先（入居・利用者数） | 支援回数（回） | 食糧提供量（㎏） | 備考 |
| 母子生活支援施設　３ヶ所（入居者・利用者数人２３９） | １５１回 | ６，０２８ｋｇ |  |
| 児童養護施設　２ヶ所（入居者数８０人） | ６８回 | １，４３７ｋｇ |  |
| 更生保護施設 1ヶ所（入居者数２０人） | ７１回 | １，１２３ｋｇ |  |
| 支援活動団体　６ヶ所（利用者数３４７人） | ５６回 | ４，９２３ｋｇ |  |
| こども食堂 6ヶ所（利用者数４００人） | ９７回 | ３，１９７ｋｇ |  |
| 合　計（入居・利用者数合計１，０８６人） | ４４３回 | １６,７０８ｋｇ |  |

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施回数　 | ４４３回（毎月　第２・４日曜、第１月曜、第２・４火曜、第３水曜、第２木曜ほか） |
| （Ｂ）事業の実施場所　 | 京都市、宇治市、亀岡市、向日市の各施設・団体（母子施設３ヶ所、児童養護施設２ヶ所、更生保護施設１ヶ所、支援活動団体６ヶ所、子ども食堂６ヶ所、合計１８ヶ所） |
| （Ｃ）従事者の人数　　 | 延べ５００人　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 上記施設・団体の入居者・利用者（約１０００人） |
| （Ｅ）人数　　　　　　 | 延べ　約２５，０００人 |

（２）行政機関などからの要請に応えて、要支援者への食糧を手配する緊急支援事業

　　　福祉課や生活支援センターから、困窮状態に陥った市民への支援要請に応えて、できるだけ迅速に緊急支援食糧を届けた。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支援先 | 支援回数（回） | 食糧提供量（㎏） | 備考 |
| 京都府内 | ３７２回 | ８，３２７ｋｇ |  |
| 合　計 | ３７２回 | ８，３２７ｋｇ |  |

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施回数 | ３７２回（不定期） |
| （Ｂ）事業の実施場所 | 京都市、宇治市、向日市、八幡市、木津川市、城陽市、大山崎町、綾部市、亀岡市、宮津市の行政・支援機関 |
| （Ｃ）従事者の人数 | 延べ　約５００人　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 行政・機関が支援する困窮者 |
| （Ｅ）人数　 | 延べ　約５００人 |

（３）個人、団体、企業からの食糧の引き取り事業

　　　個人、農産物の生産者、食品生産企業、小売りスーパーの他、学校法人や企業などの災害用備蓄食料での余剰食糧など無償で提供していただける食糧の引き取りを行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 食糧提供者・団体など（敬称を省く） | 内容など |
| 明石農園 | 野菜 |
| 芦田農園 | 野菜 |
| アステラス製薬株式会社 | フードドライブ |
| アミタホールディングス株式会社 | アルファ化米 |
| 石田ファーム | 野菜 |
| ヴィレッジトラストつくだ農園 | 野菜 |
| 株式会社オクペイント | 玄米 |
| 川口酒造株式会社 | フードドライブ |
| 亀岡市社会福祉協議会 | 野菜 |
| 亀岡母親連絡会 | フードドライブ |
| 京都インターナショナルスクール | フードドライブ |
| 京都葵ライオンズクラブ | フードドライブ |
| 京都薫風ライオンズクラブ | フードドライブ |
| 京都紫明ライオンズクラブ | フードドライブ |
| 京都パレスライオンズクラブ | フードドライブ |
| 京都ロイヤルライオンズクラブ | フードドライブ |
| 京都外国語大学　国際貢献学部 | フードドライブ |
| 公益財団法人　京都市学校給食協会 | 缶詰 |
| 京都生活協同組合 | フードドライブ |
| 近畿生乳販売農業協同組合連合会 | 牛乳 |
| 社会福祉法人　くわの実つむぎ会 | フードドライブ |
| コープ自然派京都 | パン |
| 株式会社光洋 | フードドライブ |
| コストコホールセールジャパン株式会社　京都八幡倉庫 | パン |
| 株式会社　小原工業所 | 玄米 |
| コプロ株式会社 | ドライ食品 |
| 京都府 | フードドライブ |
| 国際ソロプチミスト京都 | ドライ食品 |
| 株式会社　坂の途中 | 野菜 |
| 西楽寺 | 米 |
| ジブラルタ生命保険株式会社 | フードドライブ |
| 社会保険診療報酬支払基金京都支部 | 備蓄用食品 |
| ジャトコ株式会社 | 備蓄用食品 |
| 晴鴨楼しろやま | 米 |
| 積水ハウス（株）大阪北シャーメゾン支店 | 飲料 |
| 株式会社ダイエー | フードドライブ |
| （株）テモテ　京のカレーうどん味味香 | カレーラーメン |
| 同志社大学附属同志社国際学院初等部・国際部 | フードドライブ |
| 中村くらしを見直す会 | 野菜・ドライ食品 |
| 日本ベーリンガーインゲルハイム（株） | 備蓄用食品 |
| 初音学区自主防災会 | 備蓄食品 |
| パナソニックインダストリー株式会社　デバイスソリューション事業部 | 備蓄食品 |
| 株式会社ファミリーマート | フードドライブ |
| 農業生産法人（株）ブルーレモンファーム | 果物 |
| 平安女学院中学校・高等学校 | フードドライブ |
| 株式会社平和堂 | フードドライブ |
| 松尾商店 | ドライ食品 |
| 箕面こどもの森学園 | フードドライブ |
| 株式会社　麦の穂 | ドライ食品 |
| 矢野食品株式会社 | こんにゃく |
| Yohei Yamaguchi | パン |
| 来迎寺 | 野菜 |
| ローム株式会社 | フードドライブ |
| 個人のみなさま | ドライ食品・お米・野菜・飲料・菓子 |

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施回数　 | 約２５０回（毎月　第２・４日曜、第１月曜、第２・４火曜、毎水曜、毎木曜ほか） |
| （Ｂ）事業の実施場所　 | 京都府内、高知市 |
| （Ｃ）従事者の人数　　 | 延べ２５０人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 施設・団体の入居者・利用者、行政・機関が支援する困窮者 |
| （Ｅ）人数　　　　　　 | 延べ　約２０,０００人 |

（４）支援農産物の確保のための自主農園での生産事業

　　　無償で貸していただいている農園で、自然農法の専門家の指導を受けながら、より安全な農産物を生産した。

【事業概要】

|  |  |
| --- | --- |
| （Ａ）事業の実施日時　 | 約８０日（毎週日曜・月曜） |
| （Ｂ）事業の実施場所　 | 京都府京都市西京区大原野 |
| （Ｃ）従事者の人数　　 | 延べ　約６００人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 施設・団体の入居者・利用者、行政・機関が支援する困窮者 |
| （Ｅ）人数　　　　　　 | 延べ　約１０,０００人 |

（５）その他の活動（講演等）

　　　５月　洛北ローターアクトクラブの取材応対

　　　６月　長岡京市中央生涯学習センターにて総会

　　　６月　箕面こどもの森学園（中学生）の取材応対

　　　７月　2021年度第１回理事会

　　　７月　京都市立待鳳小学校にて授業

　　　８月　京都市北区の民間学童保育にて講演

　　　８月　立命館守山高校１年生の取材応対（オンライン）

９月　コープ自然派の方へ向けたプチ講演会（オンライン）

　　　９月　京都外国語大学国際貢献学部にて講演会

　　　９月　大谷大学ハッピーアワー　ラジオ出演

　　１０月　2021年度第２回理事会

　　１０月　洛北ローターアクトクラブにて講演会

　　１０月　京都大学農学部１名の取材応答

１１月　大谷大学にて講演会

１１月　同志社大学政策学部３名の取材応対

１１月　立命館大学映像学科２名の取材応対

１１月　LINEワークス使い方説明会（参加者６名）

１２月　三条ラジオカフェにてKYOTO HAPPY NPOにラジオ出演

１２月　京都大学経済学部の学生３名、立命館大学政策科学部学生１名の取材応対

１２月　京都府の府民に寄り添った地域活動緊急支援事業による食品配布

１月　2021年度第３回理事会

　１月　京都外国語大学学生３名の取材応対（オンライン）

　１月　ミーティングを予定していたが、コロナ感染拡大のため中止

　２月　2021年度第４回理事会

２月　奈良県たかだまち子ども食堂の取材応対

　３月　亀岡母親連絡会で活動報告

　３月　朝日新聞取材

　３月　農林水産省　フードバンク支援緊急対策事業を受ける

　３月　厚生労働省　ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業によるドライ食品配布

　４月　2021年度第５回理事会